

東北新社、育児放棄防止CMを新制作！

～児童虐待防止推進月間に「オレンジリボン運動」と連動しキャンペーン～

東北新社(東京都港区 植村徹社長)は「育児放棄防止」を訴えるCMを新たに制作、11月より関連チャンネルで放送します。東北新社はこれまでも社団法人 衛星放送協会の“地球温暖化防止”、“飲酒運転撲滅”、“振り込め詐欺撲滅”、“ひったくり防止”などのキャンペーンCMを制作、関連チャンネルで放送してきました。

11月は厚生労働省提唱の児童虐待防止推進月間。昨年に引き続き、特定非営利活動法人 児童虐待防止全国ネットワークの運営による「オレンジリボン運動」と連動してキャンペーンを展開。社会問題になっている育児放棄について、「もし危険信号を感じたら、児童相談所全国共通ダイヤルまで相談してほしい」という30秒CMを制作。ナレーターには落ち着いた語り口に定評がある俳優の大杉漣さんを起用、子供からの感謝の気持ちを語り、親の必要性を広く呼び掛けています。

現在、東北新社関連チャンネルでは「ファミリー劇場」「スーパー！ドラマTV」「ヒストリーチャンネル」「ザ・シネマ」「クラシカ・ジャパン」「囲碁・将棋チャンネル」「スター・チャンネル」などで、昨年制作した「児童虐待防止」CMを放送中。11月1日(月)からは、今回制作したCMをこれらのチャンネルで順次放送します。また、児童虐待防止全国ネットワークの協力により、「オレンジリボン運動」ホームページや各地の街頭ビジョンでも放映される予定です。

東北新社は今後も社会に役立つCMを積極的に制作・放送していきます。



今回制作したCMのワンカット